

2019年 8月24日(土曜日)

なつやす ろうどくかい
夏休み朗読会

ろうどく まなつ かいだんばなし
「朗読だからおもしろい！真夏の怪談話」



まなつ
真夏にぴったりのイベント、
こわ たの まなつ かいだんばなし ことし かいさい
怖くて楽しい「真夏の怪談話」が今年も開催されたよ！
はなし
お話をしてくれる「こうばこの会」さんは
しかく しょう かた ちゅうしん
視覚に障がいがある方たちを中心とした、
トークパフォーマンス集団なんだ。



へや あ け
部屋の明かりが消されると、どこからか
「かごめ かごめ」のメロディーが
き
聞こえてきます。



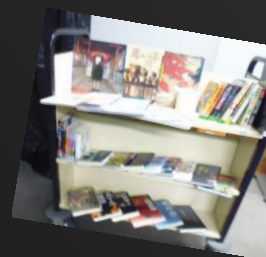
さいご いちおん やみ
最後の一音が闇にとけ…
「カチッ」と小さなライトがひとつ
とも
灯されました。



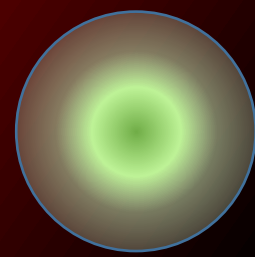
かいだんばなし
さあ、怪談話のはじまりです…



かた て はくりよく はな
語り手さんたち迫力ある話しぶりは、さすが！
とちゅう みみ こ
途中、耳をふさいでしまう子や、
からだ うご ひと
ビクッと体が動いてしまう人たちもいたな。



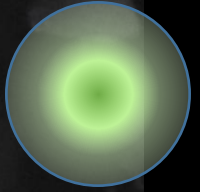
お話の間に「チーン」という鐘の音が…



時おり、天井にぼうっと怪しい光があらわれます…

「なんか出た」「誰がいる、あ！消えた…」

会場には楽しいかけがいっぱい。



後半は、部屋の明かりをつけたままで

絵本の朗読からはじまったんだ。

ページをめくりながら語り手さんが読みすすめるの。

『ちょうつがい きいきい』はとっても怖いお話 だけど

不思議な絵に笑い声も上がって

ほっとした時間になったんだ。

そしてまた、明かりがおとされて…

怖いお話の世界に引き込まれていきます…

男の子が違う世界に迷い込んでしまうお話では、
おうちに帰りたくて「ここは、どこ？」と聞かたびに必ずかえってくる
「ここは、ここよ」の言葉に、会場の子どもたちが大喜び！
（「あの角を曲がれば」というお話だよ。読んでみてね！）
怖いけど楽しいお話もたくさんあったよ！



「大人の私ですら恐怖をおぼえました、まるで舞台を見ているかのようでした」

「つむいでいく言葉から次々と画面が切り替わるようで、おどろきながら楽しめました」

「ふんいき満点」

「びっくりしたし、おもしろかった」 などなど、たくさんの感想をいただきました。

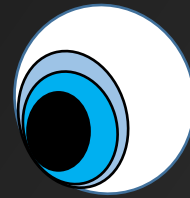
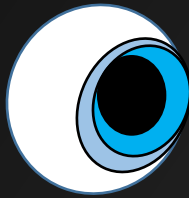


「こ^{かい}ばこの会」のみなさん

みごと ろうどく
見事な朗読をありがとうございました！



まなつ かいだんばなし らいねん かいさい
「真夏の怪談話」は来年も開催するからね！
みんな^{さんか}の参加をまつてるよ。



おも えんもく
【主な演目】

「フシギナノック」(『^{がっこう かいだん}学校の怪談 1』より)

「^{うみ あらわ}海に現れる化け物」(『^{かいだん がくえん}怪談オウマガドキ学園 18』より)

「^{う か}生まれ変わり」(『^{やみだま}こわい！闇玉』より)

「^{にほん ばなし}おいとけぼり」(『^{にほん ばなし}日本のおばけ話』より)

「^{ま かど}曲がり角のさっちゃん」(『^{くろ ほん かいだん}黒い本 ついてくる怪談』より)

「^{かもんななみ}ちょうつがいきいきい」(『^{かるとけひろ え}加門七海／さく 軽部武宏／絵』より)

「^{かど ま}あの角を曲がれば」(『^{ふしぎ}あなたのとりにある不思議 ぶるぶるへん』より)

「^{むらさきいろ しんごう}紫色の信号」(『^{しん はなこ}新・花子さんがきた！！』より)

ふちゅうしりつちゅうおうとしょかん しょぞう
※府中市立中央図書館に所蔵がない本もあります。

